

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0170200885		
法人名	有限会社 エイチ・ティ・エス		
事業所名	グループホーム ハーモニー		
所在地	北海道札幌市北区北33条西6丁目2-40 (電話) 011-738-9406		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年11月2日	評価確定日	平成21年11月10日

【情報提供票より】(平成21年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年4月15日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	12人
職員数	14人	常勤	13人, 非常勤 1人, 常勤換算 9.3人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨	造り
	3階建ての	1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000~40,000円	その他の経費(月額)	13,000~17,500円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	100円
	または1日当たり		1,300円	

(4) 利用者の概要(9月30日現在)

利用者人数	12名	男性	1名	女性	11名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 82.3歳	最低	67歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	能登内科小児科医院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

本年は、戸外に出かけられる機会を多く増やすよう取り組み、仁木へのぶどう狩りや豊平峡での紅葉狩り、近隣公園での花見や駒岡保養センターへの一泊旅行などが行われている2ユニットのグループホームです。また、職員の段階に応じた研修の機会も作られ、地区の在宅ケア連絡会や管理者研修会、福祉事業所連携研修、連携する医療機関の研修参加が行われ、法人内外の研修参加の機会が確保されています。認知症ケアに有効とされるセンター方式を活用し、一人ひとりの力や生活歴を把握し、介護計画に反映すると共に日々の記録、評価、次の計画に反映される一連の連動した取り組みが実践されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、日頃から緊急時など地域の人々の協力が得られるような取り組みについて改善点が挙げられていましたが、地域の防災訓練の打合せや運営推進会議での災害時の協力についての意見交換、火災・地震避難訓練の定期的な実施など取り組まれています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、介護計画に反映するなど具体的改善に取り組んでいます。また、運営推進会議で外部評価の結果及び指導監査についてもその内容が報告され、意見交換されています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に実施され、主な議題は 現在の利用者状況の説明 レクリエーション実施の結果及び今後の予定について 内部職員研修の実施について 本年度の自己評価の結果について 災害時の協力及び指導監査の内容について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関入り口に「意見箱」を設置して、家族や来訪者に意見や苦情を言い表せる機会を設けています。また、職員の紹介やその日の勤務者が分かるように掲示されていると共に家族等の来訪時には日常の生活の様子や健康状態、意見や要望など話し合わせられ運営に反映される取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会の盆踊りや夏祭り参加、介護予防センターでのふれあい食事会参加などを通じて地元の人々との交流に努めています。また、地域の防災訓練の打合せに参加するなど連携に取り組んでいます。地区の在宅ケア連絡会や管理者研修会、福祉事業所連携研修、連携する医療機関の研修参加が行われ、地域の他事業所との連携も行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、日々の申し送りやミーティングを通じて理念を共有し、その実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の盆踊りや夏祭り参加、介護予防センターでのふれあい食事会参加などを通じて地元の人々との交流に努めている。また、地域の防災訓練の打合せに参加するなど連携に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、介護計画に反映するなど具体的改善に取り組んでいます。また、運営推進会議で外部評価の結果及び指導監査についてもその内容が報告され、意見交換されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に定期的実施され、利用者、家族、町内役員、包括支援センター、管理者・職員で構成され具体的な改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区主催の管理者連絡会の事例発表会や職員研修会など担当者の協力・助言を得た取り組みが行われている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「ハーモニー新聞」を発行して、日常生活の様子やホーム行事参加の様子など情報提供されていると共に金銭管理についても毎月明細が報告されている。また、健康状態については、都度家族に報告が行われている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口に「意見箱」を設置して、家族や来訪者に意見や苦情を言い表せる機会を設けている。また、職員の紹介やその日の勤務者が分かるように掲示されていると共に家族等の来訪時には健康状態、意見や要望など話し合われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じた研修の機会も作られ、地区の在宅ケア連絡会や管理者研修会、福祉事業所連携研修、連携する医療機関の研修参加が行われ、法人内外の研修参加の機会が確保されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区の在宅ケア連絡会や管理者研修会、福祉事業所連携研修、事例発表会や職員研修会を開催して、地域のネットワークを構築してサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、ホーム主催の行事や地域の夏祭りに参加したり、食事の準備や趣味への支援で一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望を把握している。また、温泉入浴や花見、動物園見学など積極的に外出の機会を多く作っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式をもとに作成されており、利用者・家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		<p>特筆すべき点として、認知症ケアに有効とされるセンター方式を活用し、一人ひとりの力や生活歴を把握し、介護計画に反映すると共に日々の記録、評価、次の計画に反映される一連の連動した取り組みが実践されている。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に2ヶ月ごとに見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院や往診など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師、かかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保され、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から医師と連携して利用者・家族と繰り返し相談しながら慎重に対応するよう職員間で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけや対応が行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、食事の準備や後片付け、おやつ作りや雑巾縫いなど本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力や生活歴を活かしながら食事の準備や後片付け、うどん作りやカルタ遊び、動物園見学や花見など楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本年は、戸外に出かけられる機会を多く増やすよう取り組み、仁木へのぶどう狩りや豊平峡での紅葉狩り、近隣公園での花見や駒岡保養センターへの一泊旅行などが行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修会を実施し、鍵をかけないケアが職員間で共有されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が3名配置され、消防署の協力を得て火災避難訓練、地震対策が定期的実施されている。</p>		<p>今後は、救急救命訓練の定期的な実施が期待されます。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについて保健師のアドバイスを得ておおよそ把握され、医師のアドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や廊下には、ホーム行事の参加の写真や職員手作りの作品、利用者の習字の作品などが飾られ家庭的雰囲気を出す工夫が行われている。また、花や植物などのプランターも置かれ季節感を感じる工夫も行われている。利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇や冷蔵庫、レンジやテレビなどの家電製品や使い慣れた家具やソファなどが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。